

# 注意灯LED電球 開発

## 高速道進入路など需要

### 日本フネンと県工技センター

マンション用ドア製造大手の日本フネン（吉野川市）と徳島県立工業技術センターは、高速道路の進入路などに設置する注意灯・プリンカーライト用のLED電球を開発した。プリンカ

ーライトは電圧を変えて昼夜の光量を調整しており、電圧が変化すると発光しないLEDへの切り替えは設備の変更が必要だったが、独自の電圧分岐回路を導入し、電球だけの交換を実現させた。実用化へ向けた実証試験中で、2013年度中の生産、販売を目指す。

## 電圧分岐回路を考案

プリンカーライトは、高速道路の出入り口や一般道路の交差点に設置さ

す。黄ランプの点滅によ

りドライバーに注意を促

さす装置。ドライバーがま

す。昼間の交流100Vに対

し、夜間は大

幅を下げる。

現在、プリ

ンカーライト

には特殊な白

熱電球を用い

るタイプとL

EDの2種類

がある。LED

の場合、そ

れぞれ発光さ

せるために加



高速道路などに設置するプリンカーライトを、手に持っているのが開発したLED電球。県立工業技術センター

取り替えることが必要。電球だけを従来のLED製品に交換することができなかった。

そこで日本フネンと県工技センターは、09年に共同開発した歩行者用信号のLED電球を改良。電圧を確認する回路を組み込んで昼間用と夜間用の回路を分岐させ、昼夜

光を実現した。光源には、日亜化学工業（阿南市）のLED34個を使用。消費電力は従

来の白熱電球の約10分の1、寿命は約4万時間で10倍となっており、省エネ・低コスト効果が見込める。12年7月末から8月月初めにかけて県内の一般道2カ所に設置し、適

正な明るさなどについて実証試験をしている。価格は未定だが、日本フネンの久米徳男社長は「機器や工事費用を考えると、少なくとも10分の1以下で済み、非常に経済的」と話している。

（林啓二）